

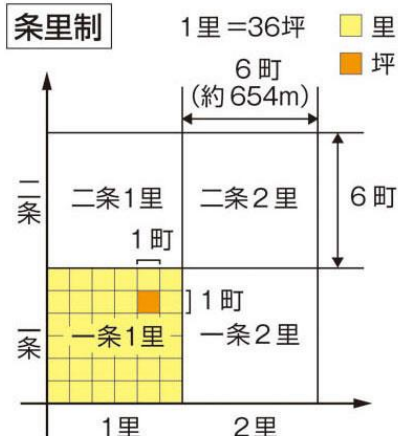
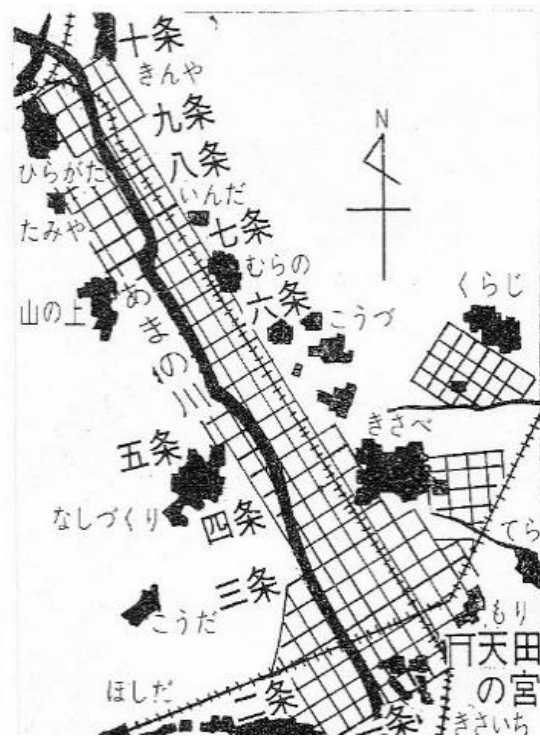
交野古文化同好会

考古・歴史・民俗の頭文字を取って考歴民（これみ）と名付けました。

交野・私市から始まる条里線

古代の土地区画法。6町（約654メートル）の幅で碁盤目状に区画し、東西の列を条、南北の列を里とした。また、6町四方の一区画を里とよび、里はさらに1町間隔で縦横に区切って36の坪とし、何国何郡何条何里何坪とよんで土地の位置を表した。

「じょうり【条里】」の全ての意味を見る



交野地方では天野川沿岸、上は私市から下は枚方市駅付近までに九条五四町の条里線がもうけられた。そしてその一条の端は、ここの田の神を祀るあまだの宮の通りからはじめられた。

質問で〜す。

平城京や平安京などは北（大極殿）から条里条坊が始まるのに何故ここは？

と多くの人から質問を受けますが、私市の人は動じません。

ここは古代天野川に沿った条里です川の流れ、いや水は上流から下流にながれます。

よって私市からはじまります。

このほかなかどおり、つくだどおりなどは東西に通る条里線で、ごんでんすじ、東かわなべすじ、中かわなべすじ、西かわなべすじなど南北に通る線です。



三宅山荘園墾田遺跡



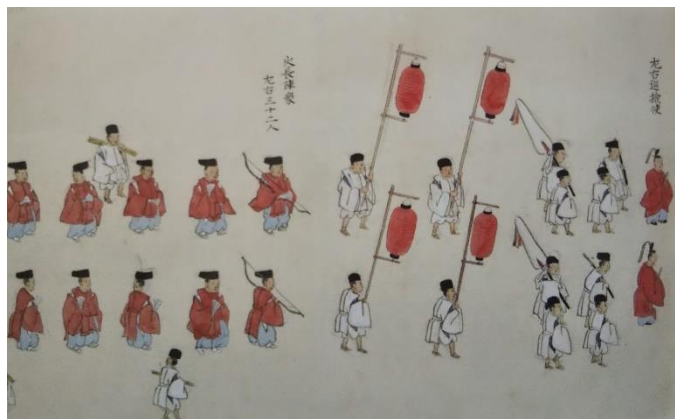
三宅山荘園田之跡



田通り（河内森駅左上）

古来交野地方で石清水八幡宮の神人たる特権を与えられているのは、森村（火長神人）と私市村（御前拂神人、押神人）、の人々でその祭礼当日（9/15）には、朝廷の四位または五位の待遇を受ける人として出勤奉仕した。

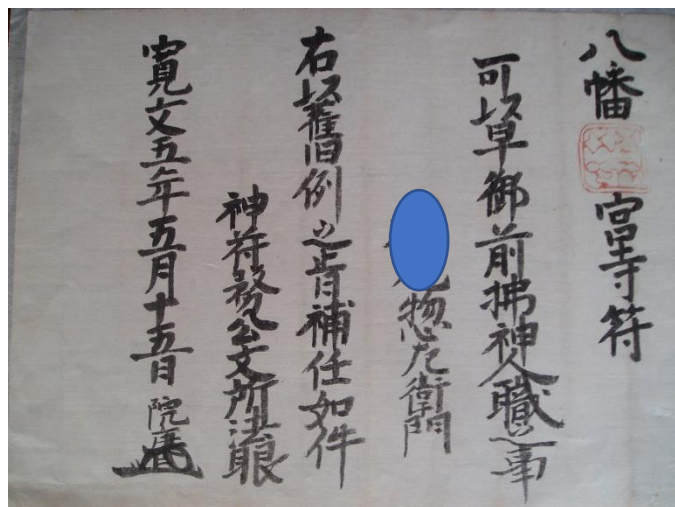
現在でも石清水八幡祭には森村からは火長神人、私市村からは御前拂神、として参加しています。
押神人は廃止。



紙本着色石清水八幡宮放生会絵巻

火長神人

市条例指定平成(19年11月1日)

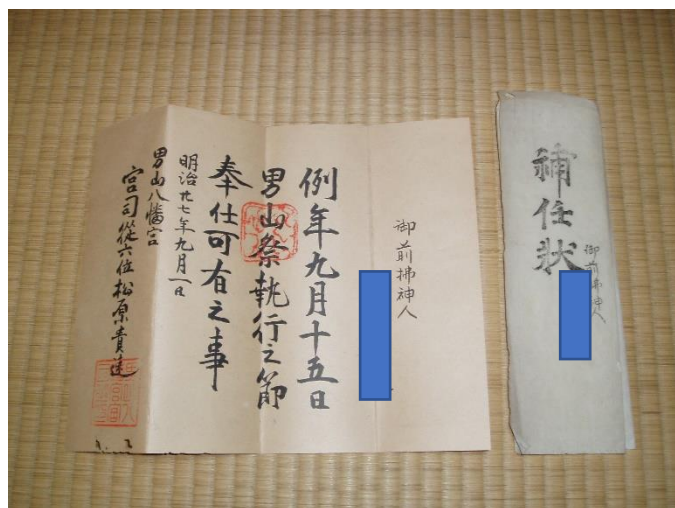


補任状・寛文5年(1665)



行列

石清水祭の祭典は、15日午前2時、山上・御本殿にて御鳳輦(神輿)3基に3座の神霊を奉遷する儀式より始まり、同3時には御本殿を出発、約500人のお供とともに山麓へと下り、絹屋殿に着御されたのち勅使以下の奉迎を受け頓宮に入御、次いで献饌・供花・奉幣・牽馬など古儀による奉幣祭が厳修されたのち、放生川にて魚鳥を放つ放生行事が行われ、御鳳輦は同日夕刻、山上へと還幸になります。



補任状・明治27年(1894)



現在、草鞋



烏帽子



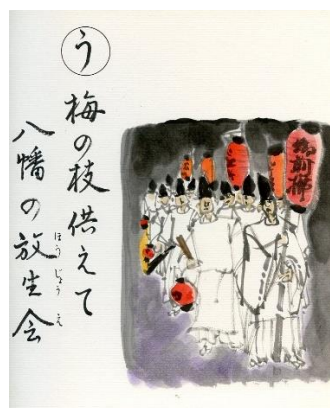
紙本着色石清水八幡宮放生会絵巻

御前拂神人





御鳳輦と頓宮



交野郷土史かるたより



梅の枝